

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学 新聞会
責任者 松澤敏広

十月号

前期警告

後期の授業開始から早一月、前期の成績表を受け取りその結果に一喜一憂したことだろう。

前期警告とは、薬学部的前期試験の結果一、二年生では未修得単位が五単位以上、四年生では一単位以上の場合送られる警告状のことである。

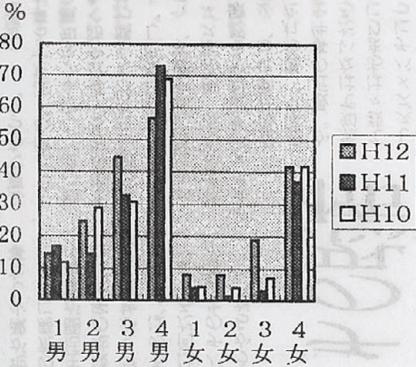
過去三年間の警告率を左のグラフにまとめた。一、二年生において、昨年まで未修得単位八単位以上で警告を受けていたのが、五単位以上に変った。そのため四年生を除き、どの学年も全体的に警告率が増加している。特に一、二年生においては、昨年度のおよそ二倍となっている。また男女別で比較してみると、今年もやはり男子の警告率が圧倒的に高い。さらに、学年が進むにつれて警告率が増加している。これは実習などで忙しくなる上に、授業内容も応用的になっていくためだろう。

今回の前期警告に関して、教務担当の菊川教授にお話を伺った。

「今年から未修得単位五単位以上を警告対象としたのは、各学年の科目をしっかり履修してもらいたいからである。以前、通年で授業のある教科は四単位であったために、未修得単位八単位以上を警告対象としていた。しかし、通年授業の科目を三単位にした事で、警告対象が緩くなってしまった。今回、対象を未修得単位五単位以上にした事で、以前の状態に戻ったと言っているだろう。」

「今年も、国家試験の合格率も比較的良好いので、来年も頑張してほしい。一、二年生は四年生にならないうちに、各学年での基礎を固めてもらいたい。また、単位を取得するためには、先を見据えた勉強をしてほしい。単にテスト前日に過去問のみを暗記するのではなく、内容を理解した上で覚える事が必要であろう。その場しのぎではない、身に付ける勉強をしたいものだ。」

前期警告率(男女別)



	男	女	合計
1年生	39/272	18/219	57/491
2年生	64/260	16/199	80/459
3年生	129/290	40/212	169/502
4年生	145/256	78/189	223/445

学年	1	2	3	4
H12	11.61	17.43	33.67	50.11
H11	11.72	8.91	20.47	57.3
H10	8.54	18.72	20.6	57.55

学生大会議決内容のその後

- 多摩バス経路の変更
十月二日をもって、堀之内トンネル経由へと経路変更されました。
- 新部署棟への冷水機
製水機導入
冷水機は後援会予算で導入済みです。また製水機については使用目的に誤解があるという理由で導入が見送られました。製水機は、本来打撲等のアイシング用に設置されたものであり、水を食用にするとは食中毒を発生する危険性があるとのこと。
- 学生駐車場のチケット
一日券の有効期限を、現行の一カ月から三カ月に延長します。
- 部署棟周辺への食べ物の自動販売機導入
旧部署棟一階の入口に導入済みです。

- 学生駐車場の違法駐車に関する執行委員会からの通告
無料駐車場における違法駐車が後期も続いています。現状が改善されないようであれば、年度内に無料駐車場の使用権利を大学に返還します。執行委員会はこのことを、全学部学生に対して公示並びにこの紙面を借りて通告します。
- 学生の喫煙マナーについて
分煙化の徹底を目標に、大学と執行委員会が喫煙場所の再確認を行い、近日中に何らかのキャンペーンを行う予定です。
- 最後に、全天候コート
システムの学生にあまり知られていないという指摘がありましたので説明します。全天候コートは、皆さんに遊技目的で使用してもらうために作られた施設です。水曜日の三時限と木曜日の三、四時限を除いた時間帯は、学生部に予約すれば誰でも使えるので是非利用して下さい。

BEING JOHN MALKOVICH BEING JOHN MALKOVICH BEING JOHN MALKOVICH

最高のエンターテインメントムービー! 無限の想像力で観客を釘付けにする。他に類を見ない傑作である。キーワードは、見事な人形さばき、7と7の場所にあるオフィス、うつ病のチンパンジー、会話の成り立たない受付、ニュージャーシーの郊外、そして「穴」・オフィスの壁に何故か開いたこの穴は、俳優ジョーン・マルコヴィッチの頭へと通じる入口だったのだ! 入れれば十五分間だけ彼になれるという「穴」を巡り、人々の思考が飛び交う。しまいにこの本人もそこへ入ってしまう。・・・はつきり言おう。この映画は観て、何処へ行くのか。「人間の存在意義」を根底から覆すようなテーマである。監督のスパイク・ジョーンズにとって、初の長編作品である。彼は今までに三十本を超えるミュージックビデオを手掛けており、ビースティーズのライブ映像など、熱狂的に支持されている。妻は「ヴァージン・サイエンス」の監督ソフィア・コッポラ。夫婦共々目が離せない。脚本は、こちらも映画脚本本初挑戦のチャリー・カウフマン。彼いわく本作は「多くを語り、観客の想像に委ねる」作品である。妄想天外なストーリーを産み出した新鋭脚本家とそれを敢えてリアルな視点で撮り上げたミュージックビデオ界のカリスマ。二つの才能の絶妙なコンビネーションを是非お試しあれ! 現在、東京系列の劇場で絶賛公開中。

BEING JOHN MALKOVICH BEING JOHN MALKOVICH BEING JOHN MALKOVICH

二十世紀最後のオリンピックが開幕した。テレビで中継を楽しんだ人も多い事だろう。日本にカラーテレビが普及し始めたのは東京オリンピックの頃だ。それまでテレビを持っていない家庭が多かった。あんなにモノクロだった多くの家庭が、オリンピックを観るためにカラーに買い替えたのだらう。つまりカラーテレビの普及には東京オリンピックが「役を買った」のだ。けれど、もし家にテレビが無いオリンピックの盛り上がりがあったら、緊張感が、まるで感じられないのだ。あの空気を他の人と共有できないとしたら、楽しさも半減してしまうだろう。冷蔵庫や洗濯機、あるいは自動車といった家事や仕事に直接関係する機器ではないにも関わらず、テレビは無いとかなり不便に感じる存在だ。その理由はテレビから得られる情報の量にあるのかも知れない。●テレビは単なる娯楽のための電気製品ではない。それは日常生活を送るうえで欠くことのできない、情報のパイプとも言える。たとえ意識的に見ていなくても、テレビから受け取る情報の量は相当なものだ。試しに一カ月、テレビ無しで過ごしてみるといい。世の中の出来事についてテレビからの情報があれば多くを占めていたか気が付くはずだ。つまりテレビはそれだけ人間の生活に深く入り込んでいるのだ。●間違いない。テレビは二十世紀最大の発明品の一つだ。それは「情報」というものの力を大きさを証明したものである。人と情報との関係はこれからますます密接になっていくだろう。今や情報とは、「生活必需品」なのである。

薬味

二十世紀最後のオリンピックが開幕した。テレビで中継を楽しんだ人も多い事だろう。日本にカラーテレビが普及し始めたのは東京オリンピックの頃だ。それまでテレビを持っていない家庭が多かった。あんなにモノクロだった多くの家庭が、オリンピックを観るためにカラーに買い替えたのだらう。つまりカラーテレビの普及には東京オリンピックが「役を買った」のだ。けれど、もし家にテレビが無いオリンピックの盛り上がりがあったら、緊張感が、まるで感じられないのだ。あの空気を他の人と共有できないとしたら、楽しさも半減してしまうだろう。冷蔵庫や洗濯機、あるいは自動車といった家事や仕事に直接関係する機器ではないにも関わらず、テレビは無いとかなり不便に感じる存在だ。その理由はテレビから得られる情報の量にあるのかも知れない。●テレビは単なる娯楽のための電気製品ではない。それは日常生活を送るうえで欠くことのできない、情報のパイプとも言える。たとえ意識的に見ていなくても、テレビから受け取る情報の量は相当なものだ。試しに一カ月、テレビ無しで過ごしてみるといい。世の中の出来事についてテレビからの情報があれば多くを占めていたか気が付くはずだ。つまりテレビはそれだけ人間の生活に深く入り込んでいるのだ。●間違いない。テレビは二十世紀最大の発明品の一つだ。それは「情報」というものの力を大きさを証明したものである。人と情報との関係はこれからますます密接になっていくだろう。今や情報とは、「生活必需品」なのである。

